

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	445 ブックスタート事業経費	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
		目	01	保健衛生総務費
基本 施策	08 子どもを産み育てやすい環境をつくる	細目	245	ブックスタート事業経費
		細々目	01	ブックスタート事業経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード 130900	担当者 氏名	入 本 理	連絡先 22 - 9653 (内線) 2713

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	乳幼児(1歳6ヶ月～2歳未満児)とその保護者 ※対象件数 740
成果(どうする)	絵本の読み聞かせにより、親子のふれあいが増し、情操教育の場となる
根拠法令・要綱等	子どもの読書活動の推進に関する法律
開始年度	平成 19 年度
終了年度	平成 22 年度
関連事業	乳幼児の育成指導事業・次世代支援対策事業
H21 事業 内容	絵本の読み聞かせの実施。平成21年度は、乳児全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問事業)時に配布。
社会情勢 の変化等	医師会館での単独実施では参加者が少ないので19年度から1歳6ヶ月健診において同時開催に変更

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
対象参加者数		人	目標 620	目標 780	750	750
			実績 828	実績 746		
実施回数		回	目標 22	目標 22	700	700
			実績 22	実績 22		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
対象者の参加率		分子(参加者数):分母(対象者)	%	目標 82.5	目標 85	93	93
				実績 94.2	実績 92.6		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	720	647	648	648				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	720	647	648	648				
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600				
フルコスト(A)+(B)	4,320	4,247	4,248	4,248				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
効索性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
達成度	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	科学的メカニズムは検証されていないが、情操教育に効果があり、DV等の抑止力になることが期待される。	○
効率的性	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	科学的メカニズムは検証されていないが、情操教育に効果があり、DV等の抑止力になることが期待される。	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
改善策	有効事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
昨年度の取組状況	予算の繰越の有無 無	
	予算の繰越がある場合、繰越の種別	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	○
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
今後の方向性(Action)	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	最小限コストで実施している。

昨年度の取組結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	19年度までは、1歳6ヶ月健診時に配布していたが、平成20年度からは、1歳6ヶ月健診時と乳児全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問事業)時に配布。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	平成21年度は、乳児全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問事業)時に配布のための移行期間であったため両事業を併用し配布した。

今後の方向性(Action)

評価者氏名(担当課長)	清水 健 司
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	ブックスタートは、親子が絵本の読み聞かせを通し、あたたかくてのよい時間をつくることを応援する事業である。読書を推進する目的もあるが、いちばん大切なのは子どもの気持ちを読むことである。また、次世代育成支援対策地域活動計画に事業掲載があるため。
現時点における課題、その他	本年10月までは、1歳6ヶ月健診と乳児全戸訪問の併用で実施しているが、10月以降は4ヶ月児の乳児全戸訪問のみでの実施となるために、訪問時期がずれ、乳児が4ヶ月以上になった場合の対処の検討が必要となっている。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	本年8月から乳児が6ヶ月になるまでに、訪問を繰り返す。